

環境月間イベント

コウノトリといっしょに  
自然とふれあおう



作品集

参加者

主催／国土交通省近畿地方整備局





### はじめに

かつては、人々といっしょに生活していたコウノトリは、昭和46年兵庫県の但馬地方を最後に日本の大空から姿を消してしまいました。

コウノトリが絶滅したこと、自然に復帰させようと日々頑張っている人々がたくさんいることを、少しでもみなさまに知っていただけたらと思います、「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」を開催しました。

当日は小雨の降る中でしたが、予定通り田んぼビオトープでの生き物調査も行っことができ、私たちスタッフ一同も童心に返り、楽しい時間を過ごすことができました。

このたびお寄せいただきました、感想文を作品集としてまとめましたので、ご応募いただきましたみなさまへお届けいたします。

この日コウノトリを見て感じたこと、コウノトリがすむ自然にふれあい感じたことをこの作品集を見て思い出してもらえたらと思います。

平成17年、コウノトリは試験的に放鳥される予定です。大空を舞うコウノトリを再びみなさまとともに見られることを願い、コウノトリと共生する環境づくりを目指し頑張っていきたいと思えます。

「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」事務局

近畿地方整備局 企画部

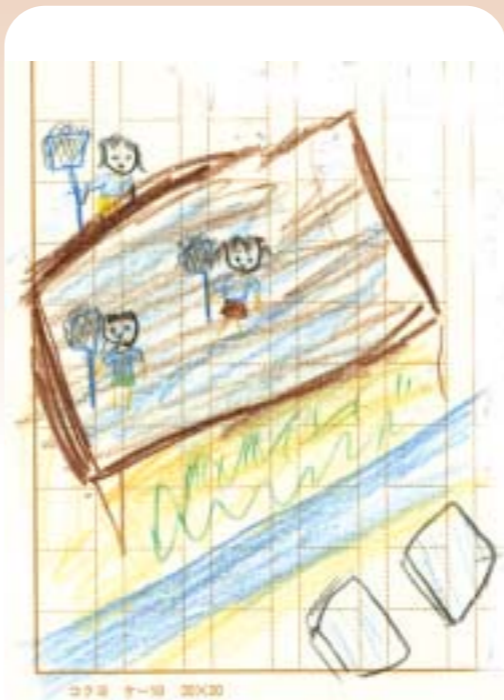


### コウノトリ郷公園に行つて

辰巳 真帆(小学四年)

わたしは、はじめてコウノトリを見ました。コウノトリは、日本に約二百羽いるそうです。わたしは、コウノトリ郷公園に行つて、たくさん知ったので、勉強になりましたと思います。一番心に残った事は、あみでたくさんさんの生き物をとったことです。わたしがつかまえたのは、カエルやおたまじやくし、その他にもたくさんとりました。ドジョウが、とりたかったけどとれませんでした。

も、お父さんが三びきもとっていたので一びきもらいました。最後の方になると、あまりつかまえられませんでした。わたしは、はじめおたまじやくしをさわるのは、きもち悪かったけどだんだんなれてきました。とても楽しかったです。また、こついのがあれば参加したいと思います。



ぼくは、コウノトリが、むかし、ぜつめつしてしまつたなんて、知りませんでした。コウノトリのすは、ツバメのすのだいたい五ばいぐらいの大きさで、すこく、大きかったです。一ばん楽しかったのは、ドジョウとかを、とったことです。ぼくのお父さんなんて、ドジョウを、三びきも

とっていました。ぼくは、ドジョウを、一びきしか、とれませんでした。だけど、ドジョウを、一びきは、とれたから、うれしかったです。

### コウノトリさと公園について

たつみ がくし(小学二年)



### コウノトリのさと公園について

瀬川 真由(小学四年)

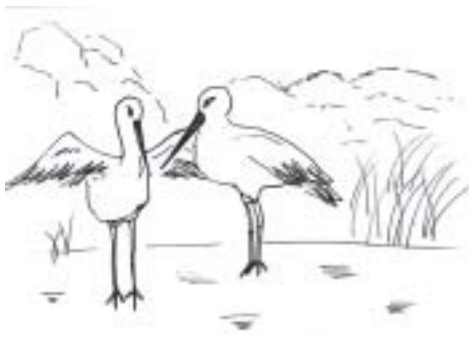
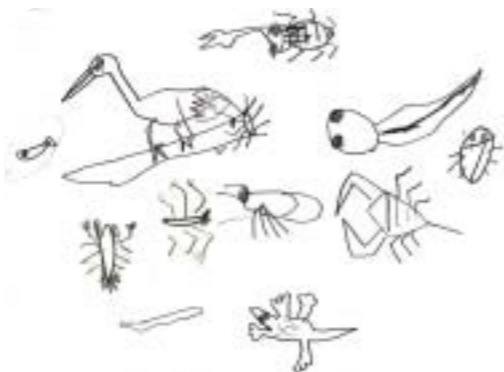
私はコウノトリをはじめ見ました。私の住んでいるひょうご県の県鳥はコウノトリです。でも私の住んでいるひょうご県のけんちよう近くは町中で、カラスやスズメ、ハト、ツバメがいるくらいです。この前、とよおか市のコウノトリさと公園にいきました。このとりがたくさんいました。公園の中で羽を広げている大きなコウノトリを見て、おどろきました。白くてとてもきれいです。コウノトリの巣のまけいがあり、私もすわってみました。とても大きかったです。そしてコウノトリ文化館でお話をききました。コウノトリは一口にどじょうなどを七〇びきも食べるそうです。そのためには田んぼにいろんな小動物がいなといけないといつたことです。むのう薬の田んぼや生き物が住める川、木のある山などゆたかな自然の中でいきられるという

ことがわかりました。私はコウノトリのすみやさい町になってほしいです。

せがわ れお(七歳)

### 田んぼ

おたまじやくし  
げんごろう  
あめんぼ  
たいごうち  
ひる やこ  
どじょう  
いもり  
たにし  
田んぼの中にいっぱいいたよ  
もりあおがえるのたまごも  
あつたよ  
こつのは、こんなのを  
たべているんだね。



コウノトリ

渡辺 うたむら(小学六年)

私は第二次世界大戦で、ほろびたコウノトリは、あまりにも気のどくです。人間たちのせいで、ほろびてしまったのだから、これには人間たちが問題だと思いました。

2005年にコウノトリを外へはなすそうですが、それまでに自由に飛べたらいいなあと思いました。今回コウノトリを見て私は、

- ・一生に一度しか見れないかもしれない！！
  - ・私も幸せになれるかも・・・
  - ・早くコウノトリを外へにがしてあげたい
  - ・さわりたいなあ・・・
  - ・モコモコ・・・
- と思いました。

「コウノトリの郷」

コウノトリの生態へ

- ・コウノトリは今にもせめつしもうな鳥
- ・日本全国でコウノトリは170頭いる
- ・ヨーロッパでは「シュバシコウ」というコウノトリがいる
- ・シュバシコウとコウノトリの口はしほシュバシコウが黒いコウノトリが黒である。しかし口の長さは同じ仲間
- ・コウノトリは 巣を作りながら遊びをする
- ・2日おきに1つたまごを生む
- ・たまごの重さ17g 卵の重さ1.5gにわたりのたまごの2倍の重さ
- ・オス、メス 交尾でたまごをおたためる
- ・時々、たまごのいちをかえて あたためる
- ・ひなが生まれるとたまごの かわを 親よりかからせてきれいにする
- ・ひなは16日まっとうな 練習(いはた)をする
- ・2か月で ひなは 巣立つ
- ・巣は 松の木に かける事が多い。てっぺんが 平らなため 巣を かけやすい
- ・たまごを産む時 9〜10度、50度の寒が多い
- ・コウノトリは 胸の頭で口ほしを保護し、しなから木の上で ねる
- ・コウノトリの1日の重さは 500g 2日おき14日分=90日=500g
- ・コウノトリの 食事は カエルとじょうぶ、アヒなどである
- ・小さなエサなどしか 食べない
- ・コウノトリの 後指は 低い位置に ついてるので 木にとまると 親指は、エサを はきだし じすに エサを あたえる 菜に
- ・指と指の 合間に 水かまが あるため 雨は ながき スズン と 歩ける
- ・エサを 採る時、くちばしを おはしの様に11/10の せからでかす。えものに ぬれると くちばしを じじで しんかん せびに はさむ 目が 見えなくても エサを とれる




コウノトリといっしょに自然とふれあおうに参加して

山下 浩・莉奈(小学一年)

今回はいろいろ企画していただきありがとうございます。たくさんさんのコウノトリが放し飼いにされているのを見て感動しました。もう少し近くで見ることができたら良いのかなあと思いました。

が、コウノトリの郷公園とコウノトリ文化館を見学する時間がもう少しあれば、もっと楽しめたと思います。また、ピオトープではたくさんさんの虫がいることを体験できて子供以上に私が喜んでいました。どうもありがとうございます。

「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」に参加して

うちだ ひかり(小学六年)

前日は、雨がふっていました。だから、「明日は、雨、やむかな。」なんて思ったりして、テルテルぼうずを、お母さんと、作りました。そして、次の日こさめながらも、なんとかけました。スタッフの人にも、やさしくて、テレビを見たり、クイズをだしてくれてパスも楽しかったです。そして、やっと、着きました。いた時間は、少しすくなかったけど、田んぼに入りました。と中で、くつをなくしたりしたけど、すごく楽しかった。青いのが、かえるがいた。きれいだっ。

ここのとりの、しつもんも、こたえてくれました。ここのとりの、すに、はいつて、しやしんをとりました。ぜつめつしかけた、ここのとりが、もどつてきてほしいと、思ったNPOの人たちががんばつ





豊岡で初めて県鳥・コウノトリを見て。

中川 洋子

当日、行きのバスで、コウノトリやコウノトリを取り巻く環境についてビデオを観たり、クイズゲームをしている内に、豊岡に到着。やはり、空気がとても澄んでいて、円山川の豊かな流れと共に、自然がいっぱいという第一印象でした。初めて見るコウノトリは、大きくて美しい鳥：その昔、ツルと呼ばれていたのも、うなづけます。

その為に、行政、企業はじめ地元NPO団体の方々等、多くの人々の協力があり、現在、人工繁殖したコウノトリは、115羽を数えるまでになったこと、また、少し前に飛来した野生のコウノトリも元気に豊岡で、暮らしていることは、嬉しいことです。とても自然に恵まれてい

コウノトリでした。豊岡の空に美しく羽ばたくコウノトリが見られる日を楽しみにしたいと思えます。早くその日が来ますように。楽しく貴重な経験ができた一日をありがとうございます。

次に、ビオトープでの生き物調査へ。はじめは、恐る恐る水田に入っていた娘も、次々と網にかかる、おたまじやくし、ヤゴ、メダカなどにすぐ夢中になりました。大人の私もすこく楽しかったです!! 念願のどじょうも採れました。計28種類の生物がいたのには、びっくりでした。コウノトリは、一日に約500gもの餌をたべる大食漢。それをまかなうには、本当に豊かな自然が必要です。

現代の人間の営みが自然に与えた影響は大きなものがあると知りました。そして、コウノトリの野生復帰には、まだ様々なハードルを越えなければならぬでしょう。今回、このイベントに参加して、思ったのは、自分の身近な所で環境にやさしくできるとはあるかなあ〜と家族で、考えて過ごしたいという事です。毎日の生活の中で、小さな事しかできないだろうけれど、その積み重ねこそ大事だと気づかせてくれた



”コウノトリといっしょに自然とふれあおう”に参加して

助川 香織

キャンセルがでて、参加できた、私達親子。ラッキ!!! あいにくの天候でしたが、予定どおりの活動ができて、やったあ!

生まれて初めて見たコウノトリ。大きな美しい姿に感動。バスの中での事前勉強。何年ぶりでしょう? 田んぼでの魚や虫の採取。種類分けが全くわかりませんでした。

親にとつても子どもにとつても、普段できない体験をさせていただき、感謝しています。また、親子で参加できる、楽しい企画をお願いします。または是非参加したいです。スタッフの方、一日お疲れさまでした。ありがとうございます。



コウノトリといっしょに自然とふれあおうにさんかして

すけ川 ゆい(七歳)

わたしが、とつても楽しかったのは田んぼに入ったことです。田んぼで、わたしがつかまえたのは、おたまじやくしーびきと、ちいさなえび三びきぐらいと、いとトンボのヤゴが二ひきです。

ママがつかまえてくれたのは、ドジョウーびきと、えびが五ひきぐらいと、おたまじやくしー三ひきです。

わたしも、さかながつかまえてよかったです。いやだったのは、でかいくもがいたことです。わたしは、さかなをつかまえたことをまだ、おぼえています。うれしかったからです。楽しかった。



# コウノトリといっしょに自然とふれあおうの感想

滝市 かおり・七海(小学三年)

後継者不足のための田んぼの減少、農薬の散布のしすぎなど、自分とは、少し遠い世界の事だと、おもっていた事が、ここのとりの生活をおびやかし、自分たちの生活も、おびやかしていくのだと改め

て感じた体験でした。(母)

コウノトリ川柳  
わが家にも  
あそびに来るかな?  
コウノトリ(父)



# 「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」に参加して

徳永 峰子

新聞の募集を見て、息子には貴重な経験になると思ったものの、私には正直なところコウノトリと言ったら皇太子様しか思い浮かばなかったし、鷺とコウノトリ、鶴とコウノトリの違いも知りませんでした。でも、車中のビデオ学習でいろいろと教えていただき、自然の大切さを子供達に伝えておきたいチャンスだと感じました。

豊岡に着いて、まずコウノトリの剥製や巣の模型を目にして、とても大きいのに驚きました。次に、公開ゲージの中から飛び立つ姿を見て、感動!でした。しかし、絶滅したコウノトリが今日の数になるまでの話を聞き、大変な苦労があったことを知りました。失ったものを取り戻すことがどんなに大変なことかを親子で感じました。(余談ですが、やはり私の子供のころ

農薬が使われ、治水事業が始まり川の様子が変化した頃、雫を見なくなりしました。(息子にとって、田んぼの中の生物調査は貴重な体験でした。田んぼや畑を目にするここのない生活の中で、いろいろな生き物の実物を目にして触れ、最初は泥水に腰が引けていたのですが、すぐに夢中になりました。また、農薬の自然や生物に対する影響を学習させていただいたおかげで、学校の郊外学習にも生かされました。  
身の回りの少ない自然の中でも人と自然の共存は、なかなか難しく、我が家の周りでも宅地開発や建て替えて30年40年と育った木さえ切られていくのを、虫好きな息子は残念そうに見ています。一度失ったものを取り戻すのは大変なことと分かっていても、めまぐるしい状況の変化

藤坂 幸樹・翔(小学五年)・葵(小学一年)

こんにちは、藤坂です。先日は親子共々たいへんお世話になりました。昨年、今年と参加させていただきました。

こちらではあまりというか全く自然と触れ合う機会がないので、上の子(五年生ですが)は「絶対田んぼなんか入られへん」とか言っていたのが、向こうでは田んぼに入っではしゃいでいました(笑)。その後自然学校で田植えの実習をしたときにすんなり入れたと言っていました。  
一見何気ないようでもものすごく貴重な体験をさせてもらったと思っております。それと私たちの世話をされたりするのも大変だったと思います。(お疲れ様です。)  
道路、河川等の管理や工事、未来に向けて今できることをされているのは理解してます。必ずしも必要であるかと言われれば必要かもしれない。(便利の良き、等)



しかしながら、急ぎすぎている世の中において、今日より明日、明日より明後日を見据えて物事を考えられる良い機会でもありました。またお世話になることもあるかと思いますが、そのときはよろしくお願いいたします。



ごさか まゆみ(小学一年)

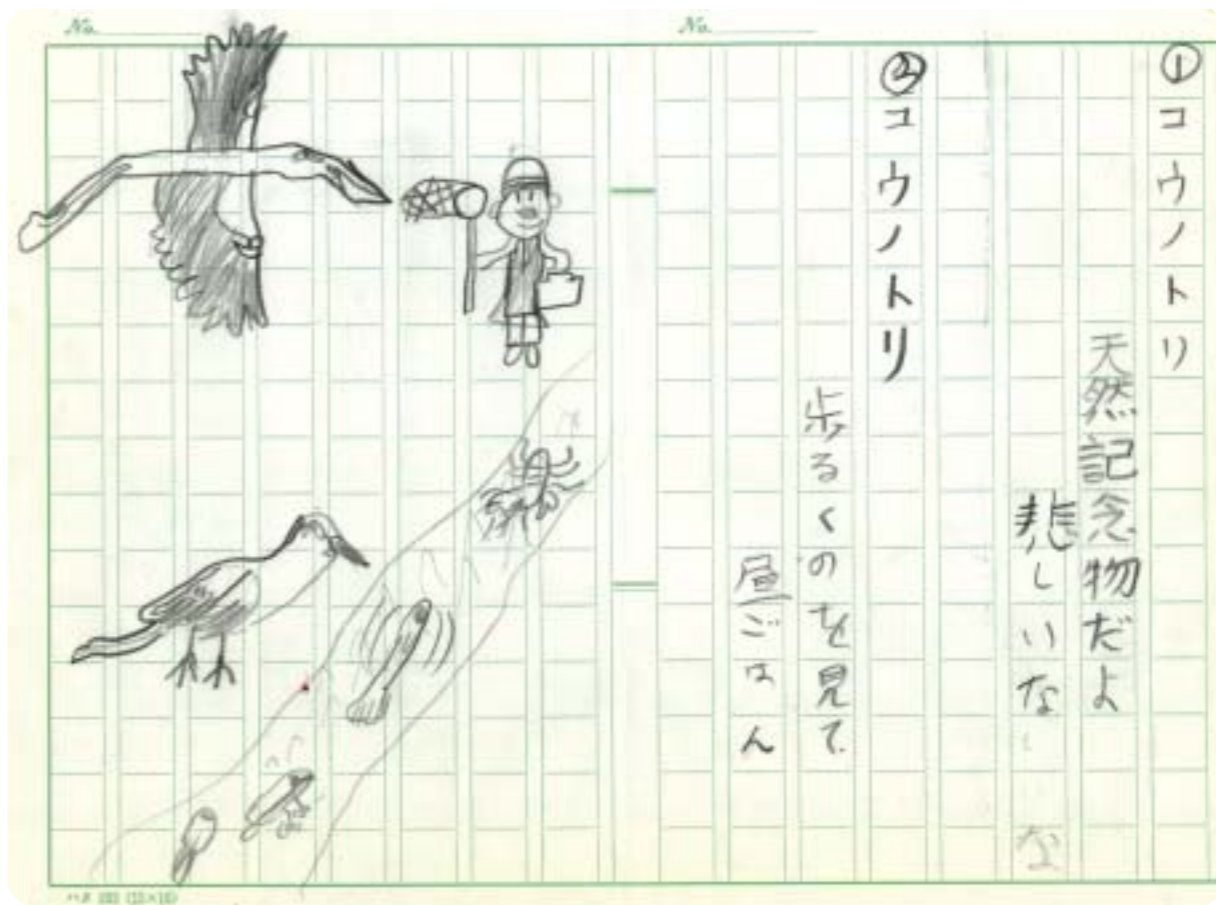
おかあさんとおじちゃんとおにいちゃんとおとうさんと四にんでこのとりをみにいきました。このとりにえさをやるためにむしとりをしました。あめもふっていました。たんぼはどろどろだったけれどたのしかったです。だんだんとついているうちにむしがいなくなっていました。それはなぜかというとみんながとってしまったからです。かえるのたまごやおたまじゃくしをとってうれしかったです。こんどはこのとりをみにいきました。しりとくろでちよつとつるさんにていてとてもきれいでした。みんなたのしそうにおさんぽをしていました。わたしはこのとりのせなかにのってひこうきのよりにとんでみたいです。

「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」に参加して

「コウノトリといっしょに自然とふれあおう」というツアーに参加しました。そこでコウノトリ博物館へ行きました。コウノトリは三十年前に全滅した鳥です。中国、かん国からもらって、ここで育てています。来年に自然に返そうという計画が進められています。そこで、コウノトリにとつてすこしやさしい環境にしようといっしょに努力しています。

コウノトリのえさがたくさんあるたんぼの生き物調査をしました。あみでたんぼの生き物をつかまえて、ばけつに入れます。どじょう、カエル、おたまじゃくし、アメンボ、メスがオスの背中にたまごを産むコオイムシ、そして大きなタイコウチをつかまえました。そして、タイコウチを研究員のおじさんに見せるとおじさんは、「タイコウチだよ。タイコウチはまだ一匹しかつかまえていない

小坂 亮太(小学五年)



山口 開陽(小学四年)

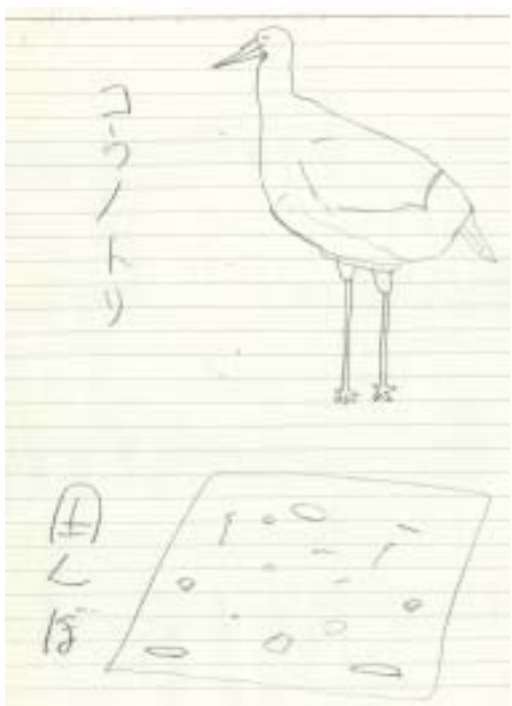
い。すばらしい。」といわれたので、ぼくはうれしかったです。最初はたんぼの外からとつていましたが、思い切つて中に入ってみました。なんか土がやわらかいので、足がすいこまれました。そして一歩歩いてはあみでつかまえました。はじめは気持ち悪かったけれど、だんだんおもしろくなりました。またやってみみたいです。

山口 晴子

今回初めて参加させていただきました。行きのバスの中で見せていただいたビデオや紙芝居は子供にもわかりやすかったようです。また、たんぼの生き物調査は初めての経験で、初めはこわごわ入っていたのにだんだん大胆になり、目が生き生きとしていました。家に帰ってから、仕事で今回参加できなかった父に興奮気味に話している二人の姿を見て、参加できて本当によか

中本 吉則・真衣(六歳)

この間は、色々、ありがとうございました。うごきました。親子共、楽しく1日を過ごす事が出来ました。子供も又行きたいと言っております。コウノトリがあんなに大きくて、かわいいものとは思いませんでした。食べ物や、量など、色々勉強になりました。行くまでは、どんな物を食べているのかなあ〜と思っていたので、大きい分、たくさん食べるのですね。たんぼの中は、子供も大を出して喜んでいました。かなり楽しかったのか、しばらく話をしていました。何々をつかまえたのだ、とただの話をしてくれました。たんぼの中は、生物はなにもいないと思っていたのですが、たくさんいるのですね。びっくりしました。ヒルがいると聞いてこわかったです。



どじょうがすくえたよ

西村 望来(小学三年)

ちゅうせんに当たって... 6月25日(金)の7時からポチャタツ... 郷公園ではこうの鳥はすく元気モリモリで...

それから田んぼに入りまし... 始めはこわくて田んぼには入れませんでした...

天候にはちよつと恵まれま... 有意義な1日を過ごさせて頂き...

ノトリの話をしてむずかし... 虫取りができることが...



いっしょのトリの郷へ行って

西村 智子

子供が小さなうちに、一緒に色々な物を見たい! 色々な経験をしたい! と思い、ツアーに参加させていただきました...

と幸せになればいいなと思います。本物のこのトリを見るときは、大きき、美しさに感動しました...

このツアーに参加して、私達や生き物達が、これから生きていく為に自然を大切にしたいと思っています...

